

中心市街地等再編調査特別委員会

1 日 時 令和7年12月10日(水曜日)

午後2時12分～午後2時34分

2 場 所 委員会室

3 出席委員 村田弘司 委員長 竹下駿 副委員長
竹岡昌治 委員 山中佳子 委員
三好睦子 委員 岡山隆 委員
秋枝秀稔 委員 杉山武志 委員
戎屋昭彦 委員 藤井敏通 委員
末永義美 委員 山下安憲 委員
石井和幸 委員 井上敬 委員
三善庸平 委員

4 欠席委員 なし

5 委員外出席議員

荒山光広 議長

6 出席した事務局職員

岡崎基代 議会事務局長 寺埜真輔 議会事務局議事調査班長

中島高輝 議会事務局庶務班長

7 説明のため出席した者の職氏名

なし

8 会議の次第は次のとおりである。

午後2時12分開会

○委員長（村田弘司君） ただいまより、中心市街地等再編調査特別委員会を開会をいたします。

議長、報告事項等ありましたらどうぞ。

○議長（荒山光広君） 特にごさいません。しっかりと意見を出していただきたいと思います。

○委員長（村田弘司君） それでは、調査事項に入ります。

本日は、前日の委員会に引き続き美祢線関連について審査を行いたいと思います。

先日の委員会で、執行部からJR美祢線については、県、沿線3市の協議において、BRTによる復旧を目指すこと、新たに法定協議会を設置し調整を進めていくという方向性が示されまして、美祢線沿線地域公共交通協議会が設置されたところであります。

したがいまして、これから美祢線の復旧に向けて、具体的な協議・調整が進められていくこととなります。

その中で、まず最初に、検討すべき具体的項目がJRのたたき台として示されるようですが、運行ルートやダイヤ、本数、乗降場所等について意見を求められていますので、本日は各委員から意見を出していただき、執行部へ伝えたいと思います。意見はありませんか。三善委員。

○委員（三善庸平君） ちょっとルートに関して意見を申したいと思います。

今、厚狭駅の在来線が発着場所になってると思うんですけども、これを厚狭駅の新幹線口のほうは回せないのかっていうところで、1つ意見を申し伝えたいと思います。

基本的には、この今の美祢線に関しては、高校生の利用だったりだとか通常の話だと思うんですけども、一応ここ山陽本線、山陽新幹線通ってますので、今後、観光の話を考えたときに、新幹線口の利用のほうがもしかしたら有効ではないか、そういったところも含めて協議していただきたいなというふうに思います。

以上です。

○委員長（村田弘司君） ほかにありませんか。戎屋委員。

○委員（戎屋昭彦君） ちょっと2つほど大きく分けてあります。

今、1つ三善庸平委員が言いました、厚狭駅の新幹線口というのも含めての話で

すけど、今、厚狭駅発着で、朝の快速便と在来便っていうか2つ路線、で、厚狭316を下って美祢駅、美祢青嶺高校から長門へ行くルートと、それから厚狭駅から山陽町の栗田から厚保駅回って祖父ヶ瀬回って南大嶺ですかね回って、美祢に来るルート2つあると思うんです。

で、JRが示してるBRTについて、まだ、どうなるか分かりませんが、一応湯ノ峠と厚保駅を現在の線路、BRTのバス路線にするというような案があったと思うんですけど、そうした場合には、それがかなり四十数億の費用がかかるということで、もうルートは現状のままで、快速便で316通す便と新幹線側からちょっと別ですけど、厚狭の栗田から本郷を通過して美祢に入って来るルート、現状の2路線をそのまま活かして便数を、ちょっと1.5倍か何倍か分かりませんが、その辺りにしてもらって、逆に厚狭高の前で快速便が停まったり、厚狭高の前を停まって厚狭駅に行くと、それから山陽本線で通学する方もいるかも知れませんが、一般の便については、逆に栗田のほうだったら、厚狭駅から栗田の駅は、スーパーの辺りにもバス停ができたらいいと思いますし、それと、厚保駅で乗降される方もあると思いますが、厚保の本郷の交差点辺りをバス停にするなりして、もっと厚保駅——厚保の市民の方の優遇性を考えたらどうかと。

だから、現状の路線を使った便で、快速便とBRTで走ったらどうかというふうなことを私は思ってます。そうすると費用的にも、財政厳しい中で、やはり公共団体とか3市の負担もかかると思いますから、その辺りがどうかというふうに今思ってます。

それともう1点は、2つありまして、もう1点は、現在の美祢線がもう通れないという状況になってますから、道路と踏切が渡ってるところ、早急に一旦停止を解除、JR等を含めて、BRTならば2年3年かかるかも知れないけど、早く一旦停止がなくなるように、今、私どもが宇部興産引込線が今一旦停止なくなりましたけど、その辺りをすると市民の通勤・通学も踏切りだと停まらなくてもいいんじゃないかなというところで少し楽になるんじゃないかなと思ってますので、その2つほどお願いしたいと思います。

○委員長（村田弘司君） ほかにありますか。石井委員。

○委員（石井和幸君） 重安駅に入るルートなんですけど、今、重安駅の周りの近くにちょっと石灰会社があって、比較的大型のトラックとかが結構出入りしているの

で、しかもちょっと道が狭いので、ちょっと普通に離合とかができない状態で、恐らく5分以上、時間によっては5分以上とか平気でロスすることも起こっているんじゃないかと思ひまして、その辺のルートを国道沿いに、駅に寄ってもらうのが理想なんですけど、国道沿いに駅をつくるとか、そっちのほうでもちょっと協議していただければなっていう。

○委員長（村田弘司君） バス停等配慮についてお願いしたいと。杉山委員。

○委員（杉山武志君） 皆さん、タブレットは立ち上げておられます。ちょっと配信したいと思ひます。いきましたでしょうか。ちょっと私の案をワンペーパーにまとめてまいりました。

下に書いてあるんですけど、BRTの導入案として、速達性・定時性の確保ということで、長門から於福駅まで、この間に信号が20個と踏切が1個あります。長門市内の渋滞を避けるためにですね、長門と於福の間、約19キロをBRTにすると、そうすれば定時制と速達性が維持できる。

そして、於福にした理由の1つが大ヶ峠トンネルが途中にあるんですけど、大ヶ峠トンネル、この付近は積雪で事故等がよく発生しまして、このBRTの車両が巻き込まれないように路線を走ると、そうするために、於福駅で316に合流させるという案です。

これ、工事費からするとですね、先ほど、厚保から湯ノ峠が45億とかいう話も出てますけど、この19キロをアスファルトにすると4億7,800万、あと条件によって異なるんですけど、普通に考えたら4億7,800万で施工できると。

それと、下に移りますけど、美祢市はですね、現行13往復通ってるわけですけど、1.36倍ぐらいの17往復を想定してます。速達性と定時性の確保、現在の快速便なんですけど、これは従来どおり2往復、それと速達性と利便性確保、準快速として、これ新設しまして、以前お話をしております厚保熊の倉線を通るルートですが、これを4便、これも観光客に向けた車両になります。

それから利便性の確保、BRT導入にかかって、速達性と定時性と利便性とまちづくり、これに重点を置かれていますので、普通便として今走っております、先ほど戎屋委員のほうからもお話がありましたけど、地元住民用として沓野を通るルート、水色なんですけど、それから祖父ヶ瀬のほうに上がってくるルート、3つを想定してはどうだろうかと思っております。

で、以前、この黄色い線の厚保熊野倉線、これを東厚保のほうに出たところがくねくね道で通行がしにくいために、道を真っすぐわたした場合ですね、施工費が約9,000万ぐらい、これ、県道ですから県のことになるんでしょうけど9,000万円と橋が必要になりますんで、橋を造るルート、面積的に見ますと2,900平米ですから、2,400万ぐらいはこの橋だけでも、橋のアスファルト舗装だけでもいるんですけど、9,000万合わせてですね、六、七億あれば何とかなるんじゃないかなという目算であります。

JRが出しております案ですと、県が河川の工事をするのに数年かかって、それからJRはバスの軌道路線をつくるのに、また何年かかかってということで15年ぐらいかかってしまいますんで、この案だったら早く開通ができるんじゃないかなという考えであります。私はこれを提出したいなと思っております。

以上です。

○委員長（村田弘司君） 今の丁寧な発案でしたね。ほかにありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（村田弘司君） よろしいですか。そしたら、今、5人の委員の方から御意見を頂戴しました。

まず、三善庸平委員から、厚狭駅の新幹線口の解消。それから戎屋委員のほうから2点ですね、1点は、現行ルートを有効に使ってもらって、専用道は不要ではないかということ、それから本郷バス停を含めてバス停の改良、それともう1点は、今現行は走っていないのに一旦停止を求められる踏切を改善してほしいと、一旦停止をしないようにしてほしいと、これは先にやってほしいという御要望ですね。

それと、石井委員のほうから、重安駅のバス停に現在入るのに、鉾山の車と行き会いますんで非常に危ない状態にもあるし、それをバス停を含めて代えを考えてほしいということだったと思います。

そして、最後、5人目が杉山委員から資料が届いてますけども、丁寧な資料つくっていただきました。このまま出していただくということで了解してもらいたいと思います。

そしたら、この5人の委員の方々の意見をそのまま執行部のほうに伝えるということで、皆さん、御了解いただきたいと思います。藤井委員。

○委員（藤井敏通君） 意見がないですかっていうときに手挙げんで、今これ挙げと

るんですけれども、私が明らかにしてほしいなと思うのがですね、BRTっていうことの定義、先ほど三好睦子委員も尋ねられたと思うんですけど、要は、JRが考えてる例えばBRTというのは、今回45億とか何とかっていう案ですか出ましたけど、あれは基本的には、線路上を専用のバスが走るっていうことなんかなっていうふうに思うわけですよ。

で、もし、それがBRTで、そこがもうBRTということであればそれ以外に、今いろいろ杉山委員や戎屋委員からありましたけど、既存のルートを使えばいいんじゃないかっていう意見もあるんですけど、もう、はなからBRTというのはあくまでも線路上だけっていうのであれば、せっかく意見言っても駄目なんですよ。だから、まずそこは、ぜひ協議会でも確認をしていただけないかなと。

で、私は正直言って、45億もかけるよりも、今言われたように既存を使えばもっと安くなるし、そのほうが利便性もあるしということで、まずやっぱり既存をもうできるだけ使って、費用をできるだけミニマムに抑えるっていうそういう観点が非常に大事だと思いますので、ぜひ、ちょっとそういう観点もあるということでお伝え願えば。

○委員長（村田弘司君） 今、先ほど5人というふうに申し上げたけど、これで、6人の方々の意見ということで、既存のルートを有効に活用して利便性を担保してほしいという御意見だと思います。ですから、コストを抑えるということですね。末永委員。

○委員（末永義美君） すみません、私も後出しで申し訳ないですけども、私も昔からちょっともう大の鉄道ファンで、夢をちょっと提案させてください。

いろんな美祢線のルート、線路上、いろんな弊害があったり、まだまだ使えるところもあります。で、線路とくのも、例えば何十億もかかるんですね。

で、1つ提案で、もしよかったら上程していただきたいのは、まだまだ元気な美祢駅、駅から先、北ですね、そこをJR北海道さんが開発して、今、高知県と徳島の間で走っている線路と道路を同時に走る車両があるんです。

ですから、線路を大事に使うためにも、また観光客の目玉としても、朝夕の通学時間帯以外で、途中までは道路を走り、美祢駅からは線路に登って、そのまま観光に長門まで行くというそういった車両の利用もあるということで、ぜひ、通勤・通学・生活道路、生活交通以外にも観光客とか、また子どもたちに面白いというか楽

しんでいるという思いをさせて、もっと利用してもらえそうな目玉としまして、そういった車両もあって、現に、自治体でそういうことを利用している第三セクターの線路もありますので、そういったちょっと御提案もし間に合えばしていただきたいと。

○委員長（村田弘司君） いや、伝えますよ。今日皆さんのいろんな意見をお伺いしてお伝えします。私もそれ実際行ってないけど、映像で見ました。大変面白いですよ。山中委員。

○委員（山中佳子君） 今、杉山委員が言われた意見をあと7人賛同してこれを出しておりますので、それをちょっと。

○委員長（村田弘司君） じゃあ連名か何かにしてもらったら。

○委員（山中佳子君） そうですね、名前を入れていただければ。よろしく願います。

○委員長（村田弘司君） 竹岡委員。

○委員（竹岡昌治君） 長門駅から於福駅っていうのは、実は私の強く要望したところなんです。で、賛同しました。ただし、於福を入れてくれということです。

○委員長（村田弘司君） 岡山委員。

○委員（岡山 隆君） 基本的には、今回杉山委員と話しましたが、ちゃんと考えていくと、もうこの方法しか基本的にはないかなというそんな感じです。これを今回ね、まだまだいろいろあろうと思うけど、一応、基本的にはこういう方向かなと。

それで今、末永委員もいろいろ言われたけど、BRTにするためには、そういうことをせんにゃあいけんのか、ちょっとその辺が心配のところもありますし、また、逆に観光用にやってもそれが相当なお金かかって、バスと——線路だけならいいんでしょうけれども、その区間ね。だからその辺で、やっぱり財政のことを考えると、それもちょっと精査していただきたいなど。

どうしても、何ちゅうかBRTにするんやったら、線路のところを通さんじゃあけんちゅうたら、そういったところは、美祢駅周辺を迂回するような形で舗装していくちゅうそういう方向もいろいろあるから、その辺は今後法定協議会もあろうと思いますけれども、みんなの考え方として、大体今日みたいな案をぶつけたらもうそれでいいんじゃないですかね。

○委員長（村田弘司君） ちょっと岡山委員、確認ですが、今杉山委員が出されたこ

の資料、説明されたね、それは今、山中委員がこれは7人でたたいて作られた資料だから7人の連名で出したいという中に、7人の中に岡山委員も入っておられます。

○委員（岡山 隆君） 入ってないけど、大体みんなこういう方向にはなるのかなと。

○委員長（村田弘司君） それは、もうあくまでこれは意見としてつなぐだけですから。

私、委員長ですけど、私も委員長としてじゃなしに、委員として、私自身も於福の人間ですけども、於福が秋吉台・秋芳洞に対する観光ルートのキャッセルになるし、それからこの沿線3市、長門市も入ってますよね。長門市は非常に観客が集まっています。それを利用しない手は美祢市ないですからね。

今、竹岡委員がおっしゃったけども、於福と長門市の間、杉山委員もおっしゃったけど、このルート、大変私は重要だと思ってます。今の現行の美祢線は、美祢から長門に向かつては、あんまり通学客いないんですよ。美祢から山陽小野田に向かつては、通学客が莫大多い。

だから、考え方とすれば、於福を中心としてからこちらが北側、これらの観光線にしたかったんですよ。そのことを頭に置いて考えていただきたい。恐らく竹岡委員も同じ思いだろうと思います。ということで、私言いましたけど、もう皆さんよろしいですか。いいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（村田弘司君） 岡山委員、いいですか。そしたら、ただいま意見を頂戴いたしました。それでは、ただいま出していただいた意見を執行部へ伝えさせていただきます。

今後は、先日設置いたしました、中心市街地検討分科会と定住促進検討分科会に分かれて調査・研究を進めていただき、必要に応じて、全体会議にて協議を進めていきたいと思えます。

共通認識を持って、この同じこのエリアを目的が若干違うのも協議してもらいますんで、併せてやる必要があるというふうになりますから、そのときまでよろしく分科会やりたいと思えます。各分科会長、よろしくお願ひしたいと思えます。そのほか、委員の皆さんから何かありましたら発言をお願いします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（村田弘司君） ないようでしたら、本日の委員会はこれで散会します。お

疲れさまでした。

午後 2 時34分閉会

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

令和7年12月10日

中心市街地等再編調査特別委員長